

学校だより



令和4(2022)年2月1日
尼崎市立あまよう特別支援学校
あかるく まえをむいて よろこび うまれる
No. 11

まだまだ寒い日が続く、体調管理が難しい時節に加え、新型コロナウイルスの感染拡大も爆発的に増加しています。兵庫県には、まん延防止等重点措置も適用されていますので、学校でも十分注意していきますが、ご家庭でもくれぐれもお気をつけください。

さて、2月は豆をまいて家から邪気を追い出し、幸せがやってくることを願う日本の伝統行事「節分」があります。立春の日の前日となるので今年は2月3日が節分です。ちなみに今年の恵方は「北北西」だそうです。心配な状況は続いているようですが、豆まきをして、北北西を向いて恵方巻を食べながら、みんなが元気に、幸せに過ごせることを願っていますね。

今年の目標や書初めが掲示されています！



全国学校給食週間に合わせて、あまようでも1月24日～28日まで、給食週間を実施しました。給食時の子どもたちの様子や普段見られない給食室の調理器具や調理作業の様子、そして調理師さんの写真や尼崎市の給食の歴史などが掲示されました。子どもたちは、食べ物クイズにチャレンジしました。栄養ある美味しい給食を作っていたらいい調理師さんに感謝ですね。



兵庫県立播磨特別支援学校を卒業され、現在事務職の仕事をおこなわれている新村尊子さんに、ゲストティーチャーとしてお話を聞かせていただきました。普段は電動車いすで公共交通機関を利用して一人でお出かけたり、パラグライダー、乗馬、カヌー、デュアルスキーなどにチャレンジしたりと活動的なお話もあり驚かされました。また、「人に頼める勇気とお礼が言えることが大切」、「まずはやってみる。挑戦で可能性はいくらでも広がるが無理と思ったら何にもない。」「様々な出会い、つながりが、人生をどんどん拓けている。」など終始笑顔でお話いただきました。自分が経験したことを全てプラス(ポジティブ)に捉えて生活されていると感じました。最後に笑顔で「障害を言い訳にしたい。」とおっしゃった言葉は、胸に突き刺さりました。



選挙活動が始まりました！
児童会・生徒会で次期役員選出の活動が始まりました。立候補者、応援者を含め、選挙活動を通して色々なことを経験し、学ぶことができます。自分のできることをしっかり発揮してほしいと思います。



日本の伝統行事など、様々な工夫をした体験的な学習が行われています。



獅子舞

凧あげ



プラネタリウム



高等部3年生の修学旅行代替え行事に、尼崎市の職員でもあり、お笑いマジシャンでもある『ハッピー浅田さん』が、ボランティアで来校してくださいました。たくさんの驚くようなマジックとお笑い芸人らしいトークに、高3のみんなは、終始笑顔で鑑賞しました。とっても心地よい時間を過ごすことができました。



餅つき

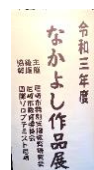


HAT神戸にある県立美術館で「みんなのアート展」(兵庫県内の特別支援学校の作品展)が、尼崎市総合文化センターで「なかよし作品展」(尼崎市立幼小中の特別支援学級、阪神特別支援学校、本校の作品展)が、コロナの感染対策を行いながら開催されました。どの作品も工夫され、力強く、一人ひとりの努力が伝わってくる素晴らしい作品ばかりでした。会場で鑑賞していると、心が温かくなりました。本校から『自画像』を出展した、高等部3年生の廣岡光君の作品が、兵庫県教育委員会賞に輝きました。

県立美術館



兵庫県教育委員会賞



1月のリッツ君シールです。
みんなが幸せな1年になります
ようにとの願いを込めました。



☆お知らせ

事務室前に設置されています公衆電話が、2月14日付で撤去されます。尼崎市教育委員会の方針で、市内小中学校も全て撤去されるとのことです。ご理解いただきますようお願いいたします。